

平成 27 年度 事務事業評価シート 【 事後評価 】

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
一般	08	04	04	0401	公園整備事業	
総合計画	分野	暮らし				
	政策	2-1	環境の保全			
	施策	5	花のあるきれいなまちづくり			
目的	公園施設の整備					
対象	公園利用者					
意図	公園を安全、快適に利用することができる。					
事業概要 …上記目的を実現するための事業手法を記載すること						
○公園施設の整備 ・園路、広場、植栽、遊具、便所等の公園施設の整備を行う。						
市民参画の有無 [対象外]						
市民協働の形態		共催 後援・協賛	実行委員会・協議会 補助・助成	事業協力・協定 委託		
活動指標（上記「事業概要」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	公園施設整備	箇所	計画	3	3	
			実績	3	3	
②			計画			
			実績			
③			計画			
			実績			
成果指標（上記「意図」に対応）		単位	区分	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(計画)
①	公園事故及びトラブル件数	件	目標	0	0	
			実績	4	0	
②			目標			
			実績			
③			目標			
			実績			
成果指標の達成度	目標値より高い	○	概ね目標値どおり		目標値より低い	

成果指標の達成度の要因分析 (新規事業及び成果指標を変更した場合は、その成果指標を設定した考え方、目標値の根拠を記載)		
公園施設の定期点検による危険箇所把握に基づいた計画的な施設補修の実施や、住民及び施設管理委託業者からの情報への早期対応により、できるだけ施設補修のニーズに合った公園施設の確保や危険を伴う公園施設の改善を行うことに努めたため、事故やトラブルが減少したと考えられる。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	公園施設は公共関与が必要な事務であることから、市が取り組む必要がある。
	<input type="radio"/> 妥当である	
	見直し余地がある <input type="checkbox"/> 妥当でない	
有効性	成果の向上余地	公園施設を整備することにより、安全性が確保され利用者が期待する公園環境が創出される。事業を継続的かつ計画的に実施していくことにより、利用者の満足度が向上する。
	<input type="radio"/> 向上余地がある	
	向上余地がない <input type="checkbox"/>	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業を実施するうえで、もっとも効果的で必要最小限の施設整備に努めていることから、事業費・人件費の削減余地はない。
	<input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある <input type="radio"/> どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	公園は一般に開放されているため、受益者は公平である。
	<input type="checkbox"/> 受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある <input type="radio"/> 適正である	
総合評価 …上記評価結果の総括		
公園施設の日常管理結果や利用者・地域の要望を参考に、要求される内容の施設整備に努めている。災害時の避難所として位置付けられる公園もあることから、それに対応する施設整備も進めていきたい。今後も社会や利用者のニーズに的確に応えた安全、安心、快適な公園とするため、良好な公園施設を提供していく必要がある。		

平成 27 年度 事業説明資料

【 事後評価 】

担当部署 部名 市民生活部 課名 生活環境課 担当係長 菊池洋和 内線 567

※色付きのセルのみ入力してください。また、行・列の挿入や削除は絶対に行わないでください。

(単位：千円)

会計	款	項	目	事業コード	事業名
一般	08	04	04	0401	公園整備事業

単位：千円

	26年度 決算額(A)	27年度 決算額(B)	28年度 現計予算額	決算額前年比 (B-A)
事業費	34,818	12,844		△ 21,974
財源内訳	国・県			
	地方債			
	その他	34,627		△ 34,627
	一般財源	191	12,844	12,653

事業期間	<input checked="" type="radio"/> 単年度繰返	<input type="radio"/> 期間限定	[平成 年度 ~ 平成 年度]
------	--	----------------------------	-----------------

部重点施策における目標
豊かな自然と生活環境を守り暮らしています

事業開始の背景・経緯

昭和35年に材木町公園が供用開始され、その後整備に伴い随時供用開始を行い現在138箇所
の維持管理を行っている。

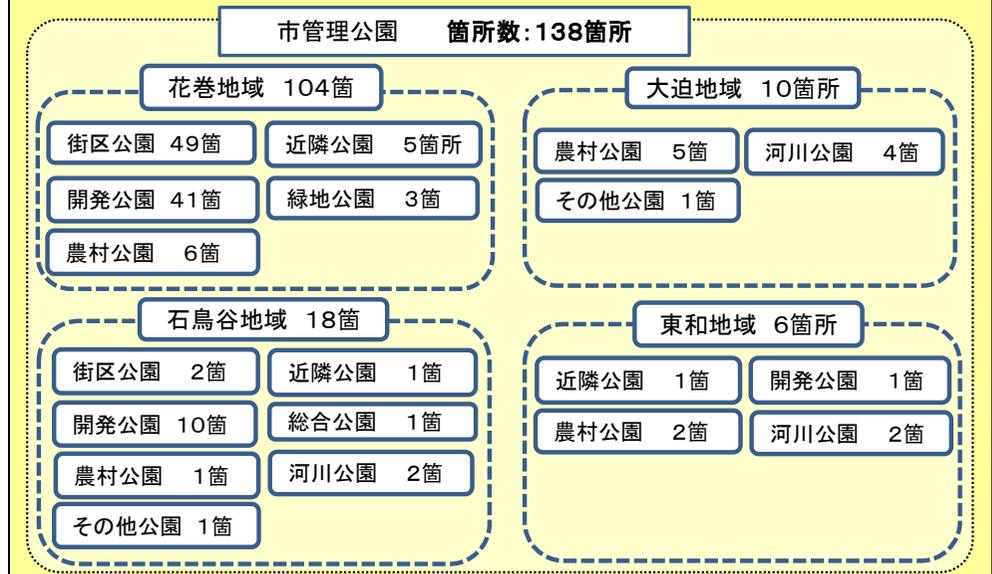
事業概要

○公園施設の整備
・園路、広場、植栽、遊具、便所等の公園施設の整備を行う。

事業を展開する上での課題、留意事項 / 意見・要望等

利用者がどのような施設を望んでいるかを把握し、施設整備にかかるコストを低減できるよ
うな工法や技術を採用する。

《事業手法の詳細》…概略図による事業手法の詳細と事業費の内訳を記載すること。
【適宜、セルは結合して構わないが、結合した1つのセル内は1文章程度にとどめること。】



○市が管理する公園施設を整備する

○事業内容

事業名	事業費	委託費	工事費
四日町東公園整備事業	7,353,720	1,836,000	5,517,720
矢沢2号児童公園トイレ塗装事業	468,720	468,720	
矢沢4号児童公園トイレ改修事業	594,000	594,000	
鳥谷ヶ崎公園トイレ改修事業	1,998,000	1,998,000	
農村義民公園駐車城等整備事業	2,430,000		2,430,000
合計	12,844,440	4,896,720	7,947,720
	12,844,000		